



2027年2月期 第2四半期(中間期)決算短信〔IFRS〕(連結)

2026年10月14日

上場会社名 株式会社ライズ・コンサルティング・グループ 上場取引所 東
コード番号 9168 URL <https://www.rise-cg.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡竜大
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0 (氏名) 進藤基浩 (TEL) 03-6441-2915
半期報告書提出予定日 2026年10月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2027年2月期第2四半期(中間期)の連結業績(2026年3月1日~2026年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に 帰属する中間利益		中間包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期中間期	4,314	△1.1	349	△64.8	337	△65.8	332	△52.9	332	△52.9	332	△52.9
2026年2月期中間期	4,361	21.8	993	21.3	986	22.6	706	21.0	706	21.0	706	21.0

	基本的1株当たり 中間利益		希薄化後1株当たり 中間利益	
	円	銭	円	銭
2027年2月期中間期	13	80	13	59
2026年2月期中間期	28	96	28	14

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円		百万円		百万円	%
2027年2月期中間期	9,045		6,985		6,985	77.2
2026年2月期	9,495		7,192		7,192	75.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年 2 月期	—	0.00	—	21.00	21.00
2027年 2 月期	—	0.00			
2027年 2 月期 (予想)			—	21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年2月期の連結業績予想(2026年3月1日~2027年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

		売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
		百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期		10,000	18.7	946	△44.5	936	△44.6	663	△46.8	663	△46.8 27.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有

連結子会社：株式会社NouScale
 新規 3社（社名）持分法適用関連会社：リコーAIコンサルティング株式会社
 持分法適用関連会社：Mill-Box株式会社
 除外 1社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記（5）要約中間連結財務諸表に関する注記事項（会計上の見積りの変更）」をご参照ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年2月期中間期	24,996,250株	2026年2月期	24,878,540株
② 期末自己株式数	2027年2月期中間期	830,400株	2026年2月期	718,700株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年2月期中間期	24,088,486株	2026年2月期中間期	24,364,121株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については添付資料の3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約中間連結財政状態計算書	4
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書	6
要約中間連結損益計算書	6
要約中間連結包括利益計算書	7
(3) 要約中間連結持分変動計算書	8
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復の動きが見られました。一方で、世界的な物価上昇や為替相場の変動、中東情勢の緊迫化等により、我が国経済を取り巻く環境は依然として先行き不透明な状況が続いております。

このように激しく変化する市場環境に対応すべく、国内企業においては、経営の柔軟性や競争力の強化を図る動きが加速しており、特に生成AI・DXを活用した業務効率化やビジネスモデルの変革に向けた取り組みが活発化しています。加えて、各企業は新たなビジネス機会の創出や更なる企業価値向上を目指した取り組みも行っており、企業活動へのコンサルティング支援に対する需要は今後さらに高まっていくものと考えられます。

当社グループは、2025年4月に中期経営計画を策定し、2026年2月期から2030年2月期において、売上年平均成長率20～25%、2030年2月期の営業利益率25～30%を達成することを目標としております。この目標達成に向けて、創業以来の強みである、戦略策定から実行支援まで一貫して顧客に深く入り込む伴走型の経営支援サービスを軸として、今後も様々な業界に対し、戦略策定、業務改革、IT導入、DX推進等のあらゆる側面からの支援を提供してまいります。

当連結会計年度においては、さらなる事業の拡大のため、重点施策として掲げている「人員構成の適正化」「既存事業の進化」「アライアンス等の営業力強化」の取り組みに注力しております。

なお、当中間連結会計期間においては、人員構成の変化により、案件獲得及び全体の稼働に影響が生じたほか、重点施策の推進に伴い、主に採用費や営業活動に伴う人件費が増加しました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上収益は4,314,121千円(前年同期比1.1%減)、営業利益は349,276千円(前年同期比64.8%減)、親会社の所有者に帰属する中間利益は332,443千円(前年同期比52.9%減)となりました。

なお、当社グループは、コンサルティング事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び資本の状況

(資産)

当中間連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて449,944千円減少し、9,045,120千円となりました。

流動資産は892,359千円減少し、2,926,059千円となりました。主な要因は、現金及び現金同等物の減少1,007,456千円、営業債権及びその他の債権の増加81,625千円、その他の流動資産の増加34,736千円であります。

非流動資産は442,415千円増加し、6,119,062千円となりました。主な要因は、有形固定資産の増加64,276千円、使用権資産の増加240,936千円、その他の無形資産の増加37,904千円、持分法で会計処理されている投資の増加56,278千円であります。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて242,966千円減少し、2,059,846千円となりました。

流動負債は178,078千円減少し、1,347,231千円となりました。主な要因は、営業債務及びその他の債務の増加58,597千円、未払法人所得税の減少194,898千円、その他の流動負債の減少78,336千円であります。

非流動負債は64,887千円減少し、712,615千円となりました。主な要因は、借入金の減少266,000千円、リース負債の増加164,467千円であります。

(資本)

当中間連結会計期間末の資本につきましては、前連結会計年度末に比べて206,979千円減少し、6,985,275千円となりました。主な要因は、親会社の所有者に帰属する中間利益332,443千円の計上、剰余金の配当による減少507,357千円であります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べて1,007,456千円減少し、1,713,509千円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、94,346千円(前年同期は938,541千円の獲得)となりました。これは主に、税引前中間利益336,894千円(前年同期は986,342千円)、法人所得税の支払額200,119千円(前年同期は264,395千円)によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、174,434千円(前年同期は2,658千円の支出)となりました。これは主に、持分法で会計処理されている投資の取得による支出60,000千円(前年同期の支出はありません)、有形固定資産の取得による支出68,586千円(前年同期の支出はありません)、無形資産の取得による支出38,502千円(前年同期の支出はありません)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、927,368千円(前年同期は507,183千円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出266,000千円(前年同期は266,000千円の支出)、自己株式の取得による支出128,424千円(前年同期の支出はありません)、配当金の支払額506,302千円(前年同期は218,347千円の支出)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期の業績予想につきましては、2026年4月13日に公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	2,720,965	1,713,509
営業債権及びその他の債権	921,975	1,003,600
棚卸資産	15,975	22,317
未収法人所得税	7,606	-
その他の流動資産	151,897	186,633
流動資産合計	3,818,418	2,926,059
非流動資産		
有形固定資産	24,945	89,221
使用権資産	278,951	519,887
のれん	5,120,539	5,120,539
その他の無形資産	-	37,904
持分法で会計処理されている投資	-	56,278
その他の金融資産	122,411	129,758
繰延税金資産	87,520	90,243
その他の非流動資産	42,281	75,232
非流動資産合計	5,676,647	6,119,062
資産合計	9,495,065	9,045,120

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	200,150	258,748
借入金	532,000	532,000
リース負債	48,545	96,809
未払法人所得税	235,253	40,355
引当金	11,705	-
その他の流動負債	497,656	419,319
流動負債合計	1,525,309	1,347,231
非流動負債		
借入金	531,790	265,790
リース負債	222,712	387,179
引当金	23,000	59,646
非流動負債合計	777,502	712,615
負債合計	2,302,811	2,059,846
資本		
資本金	185,385	194,141
資本剰余金	2,230,702	2,198,579
利益剰余金	5,244,936	5,070,023
自己株式	△468,770	△477,469
親会社の所有者に帰属する持分合計	7,192,253	6,985,275
資本合計	7,192,253	6,985,275
負債及び資本合計	9,495,065	9,045,120

(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書

要約中間連結損益計算書

中間連結会計期間

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
売上収益	4,361,426	4,314,121
売上原価	2,011,080	1,901,922
売上総利益	2,350,346	2,412,199
販売費及び一般管理費	1,360,390	2,056,547
その他の収益	3,512	5,662
その他の費用	104	12,038
営業利益	993,364	349,276
金融収益	2,203	2,839
金融費用	9,225	11,498
持分法による投資損益(△は損失)	-	△3,722
税引前中間利益	986,342	336,894
法人所得税費用	280,522	4,451
中間利益	705,820	332,443
中間利益の帰属		
親会社の所有者	705,820	332,443
中間利益	705,820	332,443
1株当たり中間利益		
基本的1株当たり中間利益(円)	28.96	13.80
希薄化後1株当たり中間利益(円)	28.14	13.59

要約中間連結包括利益計算書

中間連結会計期間

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
中間利益	705,820	332,443
その他の包括利益	-	-
中間包括利益	<u>705,820</u>	<u>332,443</u>
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	<u>705,820</u>	<u>332,443</u>
中間包括利益	<u>705,820</u>	<u>332,443</u>

(3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

(単位: 千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	合計	
期首残高	174,246	2,200,107	4,217,639	△277,312	6,314,680	6,314,680
中間利益	-	-	705,820	-	705,820	705,820
中間包括利益合計	-	-	705,820	-	705,820	705,820
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-
自己株式の処分	-	20,119	-	58,394	78,513	78,513
配当金	-	-	△218,786	-	△218,786	△218,786
新株予約権の行使	2,356	2,356	-	-	4,711	4,711
所有者との取引額等合計	2,356	22,475	△218,786	58,394	△135,562	△135,562
中間期末残高	176,601	2,222,582	4,704,673	△218,918	6,884,939	6,884,939

当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)

(単位: 千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	合計	
期首残高	185,385	2,230,702	5,244,936	△468,770	7,192,253	7,192,253
中間利益	-	-	332,443	-	332,443	332,443
中間包括利益合計	-	-	332,443	-	332,443	332,443
自己株式の取得	-	△339	-	△127,936	△128,275	△128,275
自己株式の処分	-	△40,469	-	119,237	78,768	78,768
配当金	-	-	△507,357	-	△507,357	△507,357
新株予約権の行使	8,757	8,685	-	-	17,441	17,441
所有者との取引額等合計	8,757	△32,123	△507,357	△8,698	△539,422	△539,422
中間期末残高	194,141	2,198,579	5,070,023	△477,469	6,985,275	6,985,275

(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	986,342	336,894
減価償却費及び償却費	28,560	56,181
金融収益	△2,203	△2,839
金融費用	9,225	11,498
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	86,957	△81,625
棚卸資産の増減額(△は増加)	10,282	△6,343
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△1,527	58,597
その他	91,324	△69,822
小計	1,208,960	302,542
利息及び配当金の受取額	2,203	2,839
利息の支払額	△8,228	△10,916
法人所得税の支払額	△264,395	△200,119
営業活動によるキャッシュ・フロー	938,541	94,346
投資活動によるキャッシュ・フロー		
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	-	△60,000
有形固定資産の取得による支出	-	△68,586
無形資産の取得による支出	-	△38,502
長期前払費用の取得による支出	△2,658	-
敷金保証金の支出	-	△7,346
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,658	△174,434
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△266,000	△266,000
リース負債の返済による支出	△26,818	△43,501
新株予約権の行使による収入	3,983	16,859
自己株式の取得による支出	-	△128,424
配当金の支払額	△218,347	△506,302
財務活動によるキャッシュ・フロー	△507,183	△927,368
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	428,700	△1,007,456
現金及び現金同等物の期首残高	2,459,288	2,720,965
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,887,987	1,713,509

(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

当中間連結会計期間において、建物賃貸借契約に伴う原状回復費用として計上している資産除去債務の一部について、退去時に必要とされる原状回復費用に関する新たな情報の入手に伴い、見積りの変更を行っております。

この見積りの変更により、引当金が8,169千円増加しております。また、当中間連結会計期間の営業利益が377千円、税引前中間利益が527千円減少しております。

(セグメント情報)

当社グループは、コンサルティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

(1) 基本的1株当たり中間利益の算定上の基礎

基本的1株当たり中間利益及びその算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
親会社の普通株主に帰属する中間利益		
親会社の所有者に帰属する中間利益(千円)	705,820	332,443
基本的1株当たり中間利益の計算に使用する 中間利益(千円)	705,820	332,443
発行済普通株式の期中平均株式数(株)	24,364,121	24,088,486
基本的1株当たり中間利益(円)	28.96	13.80

(2) 希薄化後1株当たり中間利益の算定上の基礎

希薄化後1株当たり中間利益及びその算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
希薄化後の普通株主に帰属する中間利益		
基本的1株当たり中間利益の計算に使用する 中間利益(千円)	705,820	332,443
中間利益調整額(千円)	—	—
希薄化後1株当たり中間利益の計算に使用する 中間利益(千円)	705,820	332,443
発行済普通株式の期中平均株式数(株)	24,364,121	24,088,486
希薄化効果の影響：ストック・オプション(株)	711,718	369,221
希薄化効果の調整後(株)	25,075,839	24,457,707
希薄化後1株当たり中間利益(円)	28.14	13.59

(重要な後発事象)

該当事項はありません。